

大江山

No.31号

発行人：山崎 明
新潟市江南区細山401
令和2年2月発行

令和元年度も終わりに近づいてきました。新しい時代の幕開け、皆さんにはどんな1年でしたでしょうか。大江山コミュニティ協議会での活動をご報告致します。

◎ 世代間交流座談会 ◎



9月10日、大江山中学校の生徒を交えての世代間交流会も今年で2年目となりました。交通問題や大江山地区の将来、魅力と知名度アップについて討論しました。中学生からは、他校の生徒から「大江山中学ってどこ？」などと聞かれ、知られてないなあと感じることも多いそう。大江山の魅力をアピールし、知名度アップしていく手立てを考えていきたいと思えます。また、交通問題でも、もっと気軽に利用できる交通システム等について活発な意見が交わされました。

◎ 発電機を購入 ◎



停電時の避難所運営体制に対応するためハンディタイプの発電機を備えました。保管場所はコミ協の倉庫です。避難所開設体制時は3避難所に配置し活用します。この事業は「江南区安心・安全な地域づくり」の助成を受けて実施しています。

◎ 自主防災訓練の実施 ◎



10月6日、丸山小学校で大江山地区自主防災訓練が開催されました。今年は地震の発生を想定し、大江山地区の全自治会と消防団大江山分団あわせて約400人が参加しました。パッククッキングの講習、AEDと応急手当の訓練などが行われました。避難所は大江山中学校、丸山小学校と大淵小学校です。経路の確認や保存食の確保など普段の備えが大切です。

◎ 大江山文化とスポーツの祭典 ◎

11月3日、作品の展示をはじめ、18団体による芸能発表が行われました。作品はどれも力作揃い。芸能発表では、大江山保育園、本興寺保育園、まつば保育園の皆さんからの可愛らしいダンスや力強い太鼓を披露してもらいました。また、大江山中学校の吹奏楽部、丸山小学校のダンスクラブ、新潟青陵大学、新潟明訓高校の皆さんによるダンスが一層華やかさを増し、会場を湧かせていました。

また、常連の団体さんもフラダンスや日本舞踊など、華麗な演技を披露してくださいました。



青陵大学、明訓高校ダンス部の皆さんからの演技は圧巻でした！

豚汁もおいしかったよ～！



たくさんの方々からお越しいただき、ありがとうございました。

◎ あいさつ運動 ◎

2019年度
大江山地区あいさつ運動 回覧
保存版

いつでも どこでも 量どでも 笑顔で気持ちよく挨拶を交わしましょう！
あいさつ標語優秀作品

あいさつは
気持ちを運ぶ **宅配便**
 大淵小学校 四年 窪田 ゆま

あいさつで
不審者退治！地域の輪
 丸山小学校 五年 中野 秀哉

あいさつで
笑顔と元気 あふれだす
 大江山中学校 二年 中川 弥侑

※この標語は2018年12月に募集したものです。

この運動はあいさつにより地域の輪を広げ安全でより良い地域づくりを目的としています。

大江山地区あいさつ運動実行委員会
 大江山自治連合会・大江山地区コミュニティ協議会・大江山地区青少年育成協議会
 大江山中学校・丸山小学校・大淵小学校 各校PTA・地域教育コーディネーター

大江山地区あいさつ運動実行委員会では7年前から、小中学校の生徒さんから標語を募集し4月・9月を強化月間とし『あいさつ運動』を実施しています。ポスターや回覧板でご覧になった方もいらっしゃると思います。

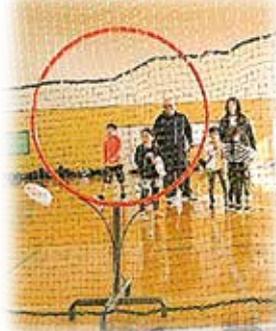


また、6月5～7日、10月16～18日のそれぞれ3日間、大江山中学校の生徒が丸山小学校、大淵小学校それぞれ母校の玄関前であいさつ運動を行いました。登校してきた小学生とハイタッチをし、「おはようございます！」と元気よくあいさつを交わしています。子どもたちに負けないよう、**大人の皆さんも元気よく気持ちの良いあいさつを交わしていきましょう！**

◎ 育成協スポーツ大会 ◎

11月17日、大江山育成協スポーツ大会が開催されました。大江山中学校を会場とし、なわとび、かるた・百人一首、卓球、カプラ、フライングディスクで楽しみました。今年は丸山小学校で作成した『地域かるた』を使い、地域への関心も高まったようです。

競技終了後はもちつき大会を行い、大江山中学校吹奏楽部の演奏や、丸山小学校ダンスクラブのダンスを見ながら皆でおいしいおもちをいただきました。



目指せ！3分の壁！



『大江山』のなりたち

大江山地区は、江戸時代に旗本小浜氏の所領であった江口村と、新発田藩領であったその他の地域からなっています。そのため江戸時代には、大渕村と江口村の境界争いで幕府の調停を依頼し、2年も争ったという記録もあるようです。同じ藩内の集落同士とは異なる難しさがあったのでしょう。

明治以降では各地域の合併が進み、明治10年に茗荷谷（茗荷谷、江崎）、西山（西山、金鉢山）が発足、明治12年に佐々山が笹山に改称、明治22年に町村制が施行されたことに伴って、大渕村（大渕、西野）、江口村（江口、三百地）、山岡村（笹山、蔵岡、松山、直り山、細山）、山通村（北山、丸山、茗荷谷、西山）の4村が発足しました。

その後、明治34年には、この4村が合併して『大江山村』となっています。言うまでもなく、大渕、江口、山岡、山通の先頭の文字を組み合わせて作られた村名で、大江山という地名があるわけではありません。これは明治22年に発足した曾野木村が、曾川、天野、嘉木の一文字をとってつけられたことを参考にしたのかもしれませんが。

昭和32年に新潟市に合併、大江山村は消滅し、現在に至っています。
文：林徳寺住職 真谷 誠祐 氏



世代間交流座談会で話題となった大江山の地名について、こんな経緯があったのですね。ご投稿いただきました真谷さんありがとうございました。

もちつき大会



師走の穏やかな日に大渕荘(14日)丸山公会堂(21日)で餅つき大会を開催しました。豚汁とつきたてのお餅はとってもおいしく、お代わりをする子も多く大盛況でした。

魅力いっぱい大江山



コミュニティ協議会ではインターネットで大江山地区を紹介しています。「魅力いっぱい大江山」で検索してください。自然、史跡、遺跡など歴史的に貴重なものが多く点在します。散策コース、見どころを写真と共に紹介しています。

編集後記

今年度も1年間、たくさんのご協力をいただきありがとうございました。これからも皆様に地域行事に参加していただき、地域の絆を深めていきたいと思っています。